

令和2年度 日本訪問看護財団研修
研修区分S

精神科訪問看護に使えるアセスメント
～GAF尺度による評価と看護モデル～

【対象】 精神科訪問看護従事者 等

【ねらい】 GAF尺度と看護モデルによるアセスメント手法を学ぶことで、精神科訪問看護のさらなるスキルアップを目指す

配信時間の目安	研修内容	講師
60分	【目次:精神科訪問看護過程の展開】 ○制度や精神科訪問看護ステーションの現状など ○GAF尺度の記載が必要となった様式 ・精神科訪問看護記録書Ⅱ ・精神科訪問看護報告書 ・訪問看護療養費明細書 ○精神科訪問看護に活用できるモデル ・バイオ・サイコ・ソーシャルモデル ・ストレングスモデル ・セルフケアモデル ○コミュニケーションのコツ	萱間 真美 氏 (聖路加国際大学大学院 看護学研究科 精神看護学 教授)
50分	【目次:GAF尺度による利用者の状態の評価方法】 ○GAF尺度による利用者の状態の評価方法 (事例を用いた評価演習を含む)	稲垣 中 氏 (青山学院大学 教育人間科学部 教授/保健管理センター 副所長)
25分	【目次:事例検討】 ○事例検討 (ケースを上記モデルで展開)	萱間 真美 氏 (同上) 瀬戸屋 希 氏 (聖路加国際大学大学院 看護学研究科 客員研究員)